

平成20年度 刊行論文・著書・学会発表

科 名	題 名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年 月 日
内 科	ペースメーカー挿入後にたこつぼ 心筋症を発症し心タンポナーデを 合併した1例	劉 和 幸 五十嵐 典 士 水 牧 功 一 亀 山 智 樹 平 井 忠 和 藤 木 明 能 沢 孝 井 上 博 野々村 誠 井 内 和 幸	第 205 回日本内科学会北 陸地方会	2008. 6. 8 金沢
	左上腕からのアプローチにより大 動脈バルーンパンピングを挿入し た急性心筋梗塞の1例	野々村 誠 原 田 大 輔 能 登 貴 久 松 木 晃 井 内 和 幸	第 205 回日本内科学会北 陸地方会	2008. 6. 8 金沢
	血液透析患者におけるダルベポエ チンの血液レオロジーに及ぼす影 響	鍵 谷 聡 志 供 田 文 宏 高 田 麻衣子 劉 和 幸 廣 瀬 雅 代 中 川 泰 三 小 池 勤 井 上 博 中 村 國 男 林 省一郎 平 田 仁 小 西 啓 子 高 林 大 輔 松 本 三千夫	第 53 回日本透析医学会学 術集会・総会	2008. 6. 20-22 神戸
	睡眠呼吸障害と循環器疾患	井 内 和 幸	富山市北部循環器疾患懇 話会	2008. 6. 26 富山
	家族歴以外に危険因子を持たない 38 歳女性の粥状硬化によると思わ れる急性心筋梗塞の1例	小 林 隆 洋 中 館 照 雄 野々村 誠 井 内 和 幸	第 116 回日本循環器学会 北陸地方会	2008. 7. 6 金沢

科名	題名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年月日
内科	抜歯の際、経口抗血栓薬は服用を中断すべきか？(2008年2月26日済生会富山病院 病診連携の会講演記録より)	村山 偉知朗 井内 和幸	富山県歯科医師会報 p21-27	2008. 7.
	抜歯の際、経口抗血栓薬は服用を中断すべきか？(2008年2月26日済生会富山病院 病診連携の会講演記録より)〈前編〉	村山 偉知朗 井内 和幸	医報とやま p12-14	2008. 7.
	抜歯の際、経口抗血栓薬は服用を中断すべきか？(2008年2月26日済生会富山病院 病診連携の会講演記録より)〈後編〉	村山 偉知朗 井内 和幸	医報とやま p9-13	2008. 8.
	『抜歯時、抗凝固薬や抗血小板薬を中断すべきか？』富山県内科医会・歯科医師会々員へのアンケート集計結果	井内 和幸	第22回日本臨床内科医学会	2008. 9. 14 長崎
	Effects of Elevating HDL-cholesterol on Coronary Plaque Morphology in Patients With Stable Angina Pectoris : Serial VH-IVUS Study	能登 貴久 亀山 智樹 鈴木 崇之 松木 晃 能澤 孝 井上 博 井内 和幸	第8回日本心血管カテーテル治療学会学術集会	2008. 11. 23-25 京都
	「2007-8年のPCI 関連エビデンスを振り返り、これからを考える」	井内 和幸	富山市北部循環器疾患懇話会	2009. 1. 22 富山
	-抜歯時における抗血小板療法を考える-『抜歯時、抗凝固薬や抗血小板薬を中断すべきか？』富山県内科医会・歯科医師会々員へのアンケート集計結果	井内 和幸	富山県内科・歯科合同カンファレンス	2009. 1. 24 富山
	The difference between early restenosis and late restenosis after Sirolimus-Eluting Stent (SES) implantation and predictors of late restenosis after SES implantation.	茶谷 健一	Complex Cardiovascular Therapeutics2009	2009. 1. 29-31 神戸国際カンファレンスセンター

科 名	題 名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年 月 日
内 科	上大静脈症候群を伴ったヘパリン起因性血小板減少症の一例	野々村 誠 小林 隆洋 茶谷 健一 中館 照雄 井内 和幸	第 207 回内科北陸地方会	2009. 3. 1 金沢
	プレミネントの1年間使用経験	松本 三千夫	学術講演会	2009. 3. 5 富山市
	特別講演『一般診療におけるワーファリンの使用法とその問題点』	井内 和幸	ほたるいかい	2009. 3. 10 魚津
	The effects of combined use of angiotensin receptor blocker with statin on coronary plaque composition	能登 貴久 亀山 智樹 鈴木 崇之 松木 晃 能澤 孝 井上 博 井内 和幸	第 73 回日本循環器学会学術集会	2009. 3. 20-22 大阪
	Klebsiella pneumoniae による肝膿瘍と転移性筋膿瘍を発症した 2 型糖尿病の 1 例	川原 順子 伊藤 みか 檜木 茂 菓子井 良郎 井内 和幸 浦風 雅春 小林 正 戸辺 一之	日本糖尿病学会 51(10)925-928	2008.
小 児 科	Gross hematuria as a manifestation of membranous nephropathy	Matsukura H.	第 43 回日本小児腎臓病学会	2008. 6. 13
	Gross hematuria in the VATER association: coincidence or association.	Matsukura H. Hirokawa S. Shimao S. Miyawaki T. Yamashita Y.	Nephrology (Carlton) 13(3):267.	2008 Jun
	Mycoplasmal pneumonia proceeding acute focal bacterial nephritis.	Matsukura H. Miyawaki T. Miyamoto M. Suzuki Y. Kubota H. Abe S.	Clin Nephrol 70(1):89-90.	2008 Jul
	ネフローゼ症候群で発症し、遷延性蛋白尿が主体の IgA 腎症の 1 例	松倉 裕喜	第 16 回中部日本小児腎臓病研究会	2008. 10. 11

科名	題名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年月日
小児科	X連鎖無ガンマグロブリン血症(X-linked agammaglobulinemia: XLA)に合併し、持続性低補体血症を呈したメサングウム増殖性腎炎の一例	松倉裕喜 倉本崇 金兼弘和 野村恵子 宮脇利男	第16回北陸腎疾患・血液浄化療法研究会	2008.10.25
	アデノウイルス感染症により肉眼的血尿を呈した膜性腎症の一例	松倉裕喜	日本小児腎臓病学会雑誌 第21巻 第2号 p.1-4	2008.11
	Mizoribine treatment of young patients with severe lupus nephritis: a clinicopathologic study by the tohoku pediatric study group.	Tanaka H. Oki E. Tsuruga K. Sato N. Matsukura H. Matsunaga A. Kondo Y. Suzuki J.	Nephron Clin Pract 110(2):c73-9.	2008
外科	腹腔鏡下胆嚢摘出術のクリニカルパスに与える肥満の影響	坂東正 山崎一麿 田近貞克 大澤宗士 塚田一博	日本外科学会雑誌 109巻臨増2 p382	2008.4
	腓ラ氏島腫瘍との異時性重複が認められた膵管内乳頭粘液性腫瘍の1例	坂東正 田近貞克 松能久雄 塚田一博	膵臓 23巻3号 p430	2008.6
	大腸癌術後のフォローアップにおける腫瘍マーカー(GEAとCA19-9)の意義	山崎一麿 坂東正 大澤宗士 田近貞克 塚田一博	日本消化器外科学会雑誌 41巻7号 p1505	2008.07
	胆管内腫瘍栓を認め肝内胆管癌との鑑別が困難であった結腸癌再発の1例	坂東正 塚田一博	胆道 22巻3号 p375	2008.8
	虫垂憩室の穿孔が原因と考えられた腸腰筋膿瘍の1例	山崎一麿 坂東正 増山喜一 田近貞克 川口誠 塚田一博	日本臨床外科学会雑誌 69巻8号 p2025-2029	2008.8

科名	題名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年月日
外科	肝左葉切除後に HALS による脾摘を 施行した1例	坂東 正 大澤 宗士 山崎 一麿 田近 貞克 塚田 一博	日本内視鏡外科学会雑誌 13号7巻 p156	2008. 9
	通常型浸潤性膵管癌と上行結腸癌 の同時性重複癌の1期的切除例	坂東 正 大澤 宗士 山崎 一麿 田近 貞克 松能 久雄 塚田 一博	日本癌治療学会誌 43巻2号 p788	2008. 10
	【手術の王道 肝・胆・膵・脾の手術】 胆嚢癌の手術 必要最小限手術 の選択	塚田 一博 嶋田 裕 坂東 正	消化器外科 31巻13号 p1985-1991	2008. 12
	胆のうポリープの診断・治療方針	塚田 一博 澤田 成朗 坂東 正	消化器癌の外科治療② 肝胆膵 こんなときどう する Q&A 上西紀夫 編	2008
	整形外科	スーチャーアンカーと Krackow 法 にて治療した大腿四頭筋腱断裂の1 例	青木 信之 藤井 秀人 吉田 晃 黒田 一成	第 110 回中部日本整形外 科災害外科学会
	胡座位で脱臼した TKA の 1 例-屈曲 位外側弛緩性への注意を喚起する-	藤井 秀人 吉田 晃 青木 信之 黒田 一成	Combined Congress of JOSKAS 2008	2008. 6. 13-14 東京
	大腿骨頸部骨折に対する Direct Anterior Approach による人工骨頭 置換術の経験-後方アプローチとの 比較-	藤井 秀人 吉田 晃 青木 信之 黒田 一成	第 37 回北陸リウマチ関節 研究会	2008. 7. 13 金沢
	大腿骨頸部骨折に対する Direct anterior approach による人工骨頭 置換術の経験-術後出血量を減らす ための試み-	黒田 一成 藤井 秀人 吉田 晃 青木 信之	第 180 回北陸整形外科集 談会	2008. 8. 31 金沢

科 名	題 名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年 月 日
整形外科	大腿骨頸部骨折に対する Direct anterior approach による人工骨頭置換術の経験-後方アプローチとの比較-	藤 井 秀 人 吉 田 晃 青 木 信 之 黒 田 一 成	第 111 回中部日本整形外科災害外科学会	2008. 10. 17-18 金沢
	内側型変形性膝関節症に対する TKA における術前 epicondylar view での外側弛緩性に対する検討	藤 井 秀 人 吉 田 晃 青 木 信 之 黒 田 一 成	第 111 回中部日本整形外科災害外科学会	2008. 10. 17-18 金沢
	大腿骨頸部骨折に対する Direct anterior approach による人工骨頭置換術の経験-在院日数と術後ドレーン出血量について-	藤 井 秀 人 吉 田 晃 青 木 信 之 黒 田 一 成	第 35 回日本股関節学会	2008. 12. 5-6 大阪
	大腿骨頸部骨折に対する Direct anterior approach による人工骨頭置換術の経験-後方アプローチとの術後歩行能力の比較-	藤 井 秀 人 吉 田 晃 青 木 信 之 黒 田 一 成	第 39 回日本人工関節学会	2009. 2. 13-14 東京
	Direct Anterior Approach による人工骨頭置換術導入への経緯、成績、約 40 例を経験した中でのコツとピットフォールについて	藤 井 秀 人	北陸 DAA セミナー	2009. 2. 20 金沢
	人工膝関節置換術-大腿骨コンポーネントの外旋角度は 3 度と習ってききましたが-人工股関節、人工骨頭置換術-後方アプローチでと習ってききましたが-	藤 井 秀 人	労災医療研修会	2009. 2. 24 富山
	内側型変形性膝関節症に対する TKA における術前 epicondylar view での外側弛緩性に対する検討	藤 井 秀 人 吉 田 晃 青 木 信 之 黒 田 一 成	日本人工関節学会誌 38 P386-387	2008.
脳神経外科	Microvascular Practice Card を用いた血管吻合練習-入門から超微小血管吻合 (supermicrosurgery) へ	松 村 内 久 梅 村 公 子 柴 田 孝 堀 江 幸 男 泉 泰 弘 渡 邊 正 人	第 17 回脳神経外科手術と機器学会	2008. 4. 11-12 長崎

科名	題名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年月日
脳神経外科	超高倍率手術顕微鏡の臨床使用経験 第1報 -次世代型の Super Microneurosurgery-	松村内久 柴田孝 梅村公子 栄楽直人 宮島謙 久保道也 堀江幸男 中村勝重	第17回脳神経外科手術と機器学会	2008.4.11-12 長崎
	超微小血管吻合技術 (supermicrosurgery) で直接血行再建術を施行したもやもや病の1例	松村内久 柴田孝 梅村公子 栄楽直人 永尾征弥 久保道也 堀江幸男	第74回日本脳神経外科学会中部支部学術集会	2008.4.19 名古屋
	超微小血管吻合技術 (supermicrosurgery) を用いたバイパス術の1例: 次世代型 Super Microneurosurgery の開発と臨床応用	松村内久 柴田孝 梅村公子 栄楽直人 黒崎邦和 永尾征弥 久保道也 堀江幸男	第7回呉羽カンファレンス	2008.4.26 富山
	頭蓋底静脈の読影-静脈吻合路を中心に	久保道也 堀江幸男 林央周 桑山直也 遠藤俊郎	第28回日本脳神経外科コンgres総会	2008.5.9-11 横浜
	たこつぼ型心筋症を合併し血管内治療と開頭手術の併用で根治し得た破裂中大脳動脈瘤の一例	栄楽直人 久保道也 松村内久 永尾征弥 黒崎邦和 柴田孝 堀江幸男	第72回富山県脳神経外科医会	2008.5.22 富山

科 名	題 名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年 月 日
脳神経外科	Microvascular Practice Card : A novel training tool of basic microvascular and supermicrovascular anastomosis techniques in neurosurgery	<u>Matsumura N.</u> <u>Shibata T.</u> Umemura K. <u>Eiraku N.</u> <u>Nagao S.</u> <u>Kubo M.</u> <u>Horie Y.</u> Hayashi N. Hamada H. Endo S.	The 9th Japanese and Korean Friendship Conference on Surgery for Cerebral Stroke	2008. 6. 6-7 Daegu, Korea
	Angioguard XP の初期成績と Guardwire との比較	山 本 博 道 <u>久 保 道 也</u> 津 村 貢 太 朗 新 井 政 幸 栄 楽 直 人 遠 藤 俊 郎	第 7 回日本頸部脳血管内治療学会	2008. 6. 13-14 長崎
	emissary vein を穿刺して治療した硬膜動静脈瘻の一例	<u>岡 本 宗 司</u> 桑 山 直 也 <u>久 保 道 也</u> 遠 藤 俊 郎	第 9 回脳血管内治療琉球セミナー	2008. 6. 27 沖縄
	病院前救護における”脳卒中ホットライン・チェック表”の作成と運用	<u>堀 江 幸 男</u> <u>久 保 道 也</u> 松 村 内 久 中 野 隆 信 宮 腰 泉 西 村 豊 藤 井 博 馬 場 秀 雄	第 26 回富山救急医療研究会	2008. 8. 23 富山
	当院における脳血管内治療教育の試み	<u>久 保 道 也</u> 桑 山 直 也	第 30 回中部地区脳神経血管内手術懇話会	2008. 8. 23 高山
	臨床に役立つ後頭蓋窩静脈の読み方-venous crossroad の重要性を中心に-	桑 山 直 也 <u>久 保 道 也</u>	第 9 回近畿脳神経血管内治療学会	2008. 9. 5-6 神戸
	Importance of understanding drainage patterns of the cavernous sinus for venous sampling in patients with syndrome	Hayasi N. <u>Kubo M.</u> Kuwayama N. Endo S.	19th Annual Meeting North American Skull	2008. 9. 11-14 Vancouver

科 名	題 名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年 月 日
脳神経外科	痙攣にて発症した硬膜動静脈瘻症 例の検討	山 本 博 道	社団法人日本脳神経外科 学会 第 67 回学術総会	2008. 10. 1-3 盛岡
		桑 山 直 也		
		久 保 道 也		
		岡 本 宗 司		
脳卒中センター開設後(血管内治療 導入後)における前交通動脈瘤治 療		栗 本 昌 紀	社団法人日本脳神経外科 学会 第 67 回学術総会	2008. 10. 1-3 盛岡
		遠 藤 俊 郎		
		久 保 道 也		
		堀 江 幸 男		
超微小血管外科技術を用いたバイ パス術		松 村 内 久	社団法人日本脳神経外科 学会 第 67 回学術総会	2008. 10. 1-3 盛岡
		柴 田 孝		
		永 尾 征 弥		
		黒 崎 邦 和		
皮質梗塞に対する局所的脳機能低 下度表示法 L-DIMENSION を用いた 神経活動の評価-視床血流との比 較検討-		栄 楽 直 人	社団法人日本脳神経外科 学会 第 67 回学術総会	2008. 10. 1-3 盛岡
		久 保 道 也		
		堀 江 幸 男		
		林 央 周		
		浜 田 秀 雄		
		遠 藤 俊 郎		
		柴 田 孝		
		永 尾 征 弥		
		黒 崎 邦 和		
		栄 楽 直 人		
		松 村 内 久		
		久 保 道 也		
堀 江 幸 男				
林 央 周				
栗 本 昌 紀				
桑 山 直 也				
遠 藤 俊 郎				
武 者 利 光				

科名	題名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年月日
脳神経外科	神経内視鏡的脳室内手術トレーニングモデルの作製法	黒崎 邦和 林 央周 浜田 秀雄 松村 内久 堀江 幸男 遠藤 俊郎	社団法人日本脳神経外科 学会 第 67 回学術総会	2008. 10. 1-3 盛岡
	根治困難な横・S 状静脈洞部硬膜動静脈瘻	岡本 宗司 桑山 直也 山本 博道 久保 道也 堀江 幸男 秋岡 直樹 津村 貢太郎 遠藤 俊郎	社団法人日本脳神経外科 学会 第 67 回学術総会	2008. 10. 1-3 盛岡
	経静脈的塞栓術を施行した Anterior Condylar Confluence の 1 例	永尾 征弥 久保 道也 桑山 直也	Meet the Specialist (2nd) in Toyama	2008. 10. 17 富山
	頭蓋頸椎移行部の venous structure - suboccipital venous crossroad を中心に-	久保 道也 桑山 直也	Meet the Specialist (2nd) in Toyama	2008. 10. 17 富山
	TVE を施行した ACC (Anterior Condylar Confluence) Dural AVF の 1 例	永尾 征弥 久保 道也 桑山 直也	Meet the Specialist (2nd) in Toyama	2008. 10. 17 富山
	皮質梗塞に対する局所的脳機能低下度表示法 L-DIMENSION を用いた神経活動の評価-視床血流との比較検討-	柴田 孝 永尾 征弥 黒崎 邦和 栄楽 直人 松村 内久 久保 道也 堀江 幸男 武者 利光 松崎 晴康	第 61 回済生会学会	2008. 10. 19 岡山
	頸動脈狭窄症に対するニューロン機能異常性マッピング法を用いた神経活動の評価	柴田 孝 松村 内久 久保 道也 堀江 幸男 高岩 亜輝子 林 央周 桑山 直也 遠藤 俊郎 武者 利光 松崎 晴康	第 75 回日本脳神経外科 学会中部支部学術集会	2008. 10. 25 金沢

科名	題名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年月日
脳神経外科	isolated sinus を呈する横・S 状 静脈洞部硬膜動静脈瘻の治療	久保道也 桑山直也 山本博道 秋岡直樹 遠藤俊郎	第 24 回日本脳神経血管 内治療学会	2008.11.13-15 名古屋
	脳卒中センター-開設後(血管内治療 導入後)における前交通動脈瘤治療	永尾征弥 久保道也 松村内久 柴田孝 栄楽直人 黒崎邦和 堀江幸男 桑山直也 遠藤俊郎	第 24 回日本脳神経血管 内治療学会	2008.11.13-15 名古屋
	ICA paraclinoid aneurysm に対す る血管内治療 - working angle に関する検討	久保道也 堀江幸男 松村内久 柴田孝 栄楽直人 黒崎邦和 永尾征弥 桑山直也 遠藤俊郎	第 24 回日本脳神経血管 内治療学会	2008.11.13-15 名古屋
	Angioguard XP の初期成績と Guardwire との比較	新井政幸 桑山直也 久保道也 津村貢太郎 山本博道 岡本宗司 栄楽直人 遠藤俊郎	第 24 回日本脳神経血管 内治療学会	2008.11.13-15 名古屋
	認知症を主症状とし、治療後に改 善を示した硬膜動静脈瘻症例につ いての検討	秋岡直樹 桑山直也 久保道也 岡本宗司 山本博道 遠藤俊郎	第 24 回日本脳神経血管 内治療学会	2008.11.13-15 名古屋

科 名	題 名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年 月 日
脳神経外科	塞栓術を行った後大脳動脈瘤(P1部)の3例	栄 楽 直 人 久 保 道 也 堀 江 幸 男 山 本 博 道 林 央 周 桑 山 直 也 遠 藤 俊 郎	第 24 回日本脳神経血管 内治療学会	2008.11.13-15 名古屋
	無症候性頸動脈ステント留置術の 治療成績	岡 本 宗 司 桑 山 直 也 秋 岡 直 樹 山 本 博 道 高 岩 亜 輝 子 久 保 道 也 遠 藤 俊 郎	第 24 回日本脳神経血管 内治療学会	2008.11.13-15 名古屋
	頸動脈ステント留置術前後の血小 板マ-カ-の検討	山 本 博 道 桑 山 直 也 久 保 道 也 岡 本 宗 司 早 川 由 美 子 遠 藤 俊 郎	第 24 回日本脳神経血管 内治療学会	2008.11.13-15 名古屋
	Mastoid emissary vein より経静 脈的塞栓術を施行した硬膜動静脈 瘻の1例	松 田 謙 桑 山 直 也 山 本 博 道 岡 本 宗 司 久 保 道 也 遠 藤 俊 郎	第 24 回日本脳神経血管 内治療学会	2008.11.13-15 名古屋
	MM50 高解像度手術顕微鏡の脳神 経領域における使用経験	松 村 内 久 柴 田 孝 黒 崎 邦 和 永 尾 征 弥 梅 村 公 子 堀 江 幸 男	第 35 回日本マイクロサ ージャー学会	2008.11.14-15 新潟

科 名	題 名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年 月 日
脳神経外科	当院における脳卒中センター開設後(脳血管内治療導入後)の破裂脳動脈瘤治療	久 保 道 也 松 村 内 久 岡 本 宗 司 柴 田 孝 西 尾 陽 一 黒 崎 邦 和 堀 江 幸 男 林 央 周 桑 山 直 也 遠 藤 俊 郎	第 28 回東海クモ膜下出血研究会	2008. 11. 21 名古屋
	高倍率(50 倍)顕微鏡下のバイパス手術	松 村 内 久 柴 田 孝 西 尾 陽 一 黒 崎 邦 和 岡 本 宗 司 久 保 道 也 堀 江 幸 男	第 75 回富山県脳神経外科医会	2008. 11. 28 富山
	急性増悪をきたした慢性硬膜下血腫に塞栓術を施行した1例	黒 崎 邦 和 久 保 道 也 松 村 内 久 岡 本 宗 司 柴 田 孝 西 尾 陽 一 堀 江 幸 男	第 17 回北陸 IVNR 研究会	2009. 1. 17 金沢
	当院における cavernous sampling	高 正 圭 桑 山 直 也 秋 岡 直 樹 久 保 道 也 遠 藤 俊 郎	第 17 回北陸 IVNR 研究会	2009. 1. 17 金沢
	めまいで発症したシャント部位の同定に時間を要した S 状静脈洞部硬膜動静脈瘻の 1 例	岡 本 宗 司 久 保 道 也 松 村 内 久 柴 田 孝 西 尾 陽 一 黒 崎 邦 和 堀 江 幸 男 桑 山 直 也	第 17 回北陸 IVNR 研究会	2009. 1. 17 金沢

科名	題名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年月日
脳神経外科	ACG(Anterior Condylar Confluence) dural AVF に対する経静脈的塞栓術-IPS の還流パターンに応じたカテテルの誘導と工夫-	久保道也 松村内久 岡本宗司 柴田孝 西尾陽一 黒崎邦和 堀江幸男 桑山直也	第17回北陸 IVNR 研究会	2009.1.17 金沢
	診断に苦慮したくも膜下出血の1例	高正圭 田口芳治 温井孝昌 平野恒治 道具伸治 豊田茂郎 高島修太郎 田中耕太郎 柴田孝 遠藤俊郎	第207回日本内科学会北陸地方会	2009.3.1 金沢
	頸動脈狭窄症における高次脳機能と神経活動の評価-ニューロン機能異常性マッピング法の有用性-	柴田孝 松村内久 久保道也 堀江幸男 高岩亜希子 林央周 栗本昌紀 桑山直也 遠藤俊郎 武者利光 松崎晴康	第32回日本脳神経 CI 学会総会	2009.3.6-7 京都
	バイパス手術の基本と応用 高倍率(50倍・40倍)顕微鏡下バイパス手術とその有用性	松村内久 西尾陽一 黒崎邦和 柴田孝 岡本宗司 久保道也 堀江幸男 浜田秀雄 林央周 遠藤俊郎	Stroke2009	2009.3.20-22 松江

科名	題名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年月日
脳神経外科	硬膜動静脈瘻に関する全国調査- 脳神経血管内治療専門医による治 療の実態-	桑山直也 坂井信幸 久保道也 山本博道 遠藤俊郎	Stroke2009	2009.3.20-22 松江
	頸動脈血行再建術前後における高 次脳機能の変化	桑山直也 高岩亜輝子 秋岡直樹 久保道也 林央周 松井三枝 遠藤俊郎	Stroke2009	2009.3.20-22 松江
	急性期脳卒中患者における肺塞 栓・深部静脈血栓症の予防：院内 予防ガイドラインの作成とその効 果について	久保道也 松村内久 岡本宗司 柴田孝 西尾陽一 黒崎邦和 堀江幸男 高堂昌子 遠藤俊郎	Stroke2009	2009.3.20-22 松江
	CAS 周術期の血小板活性はアスピ リン・クロピドグレルの併用で抑 制されるか	梅村公子 山本博道 桑山直也 久保道也 早川由美子 遠藤俊郎	Stroke2009	2009.3.20-22 松江
	高倍率(50倍・40倍)顕微鏡下バ イパス手術とその有用性	松村内久 西尾陽一 黒崎邦和 柴田孝 岡本宗司 久保道也 堀江幸男 浜田秀雄 林央周 遠藤俊郎	Stroke2009	2009.3.20-22 松江

科 名	題 名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年 月 日
脳神経外科	出血発症した硬膜動静脈瘻症例の 検討	山 本 博 道 桑 山 直 也 秋 岡 直 樹 久 保 道 也 遠 藤 俊 郎	Stroke2009	2009. 3. 20-22 松江
	頸動脈狭窄症における高次脳機能 と神経活動の評価-ニューロン機能 異常性マッピング法の有用性-	柴 田 孝 松 村 内 久 久 保 道 也 堀 江 幸 男 高 岩 亜 輝 子 林 央 周 桑 山 直 也 遠 藤 俊 郎 武 者 利 光 松 崎 晴 康	Stroke2009	2009. 3. 20-22 松江
	病院前救護における「脳卒中ホッ トライン・チェック表」の作成と 運用	堀 江 幸 男 久 保 道 也 松 村 内 久 岡 本 宗 司 柴 田 孝 栄 楽 直 人 西 尾 陽 一 黒 崎 邦 和 永 尾 征 弥 中 野 隆 信	Stroke2009	2009. 3. 20-22 松江
	Branch atheromatous disease の 血管領域による臨床的特徴の検討	田 口 芳 治 久 保 道 也 松 村 内 久 岡 本 宗 司 柴 田 孝 西 尾 陽 一 黒 崎 邦 和 堀 江 幸 男 高 嶋 修 太 郎 田 中 耕 太 郎	Stroke2009	2009. 3. 20-22 松江

科 名	題 名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年 月 日
脳神経外科	鼻出血を繰り返した部分血栓化巨大内頸動脈瘤の1例	<u>岡 本 宗 司</u> <u>久 保 道 也</u> <u>黒 崎 邦 和</u> <u>堀 江 幸 男</u> <u>山 本 博 道</u> <u>桑 山 直 也</u>	第 31 回中部地区脳神経血管内手術懇話会	2009. 3. 28 名古屋
	新たに考案した微小血管縫合・吻合練習ツール(入門期～スーパーマイクロサージャリー): Microvascular Practice Card	<u>松 村 内 久</u> <u>泉 泰 弘</u>	日本マイクロサージャリー学会会誌 21:190	2008
	硬膜動静脈瘻の全国調査(まとめ)および部位別特徴とその診断・治療上のポイント	<u>久 保 道 也</u> <u>桑 山 直 也</u>	第 24 回日本脳神経血管内治療学会 CEP テキスト 106:118	2008
	座談会「脳梗塞の治療戦略-頸動脈狭窄症に対する新しい治療の方向性と展望」	<u>桑 山 直 也</u> <u>久 保 道 也</u> <u>内 山 尚 之</u> <u>木 多 眞 也</u>	Fighting Vascular Events 12:1-4	2008
	頭蓋底静脈の読影-Venous Cross Road の重要性を中心に-	<u>久 保 道 也</u> <u>堀 江 幸 男</u> <u>林 央 周</u> <u>桑 山 直 也</u> <u>遠 藤 俊 郎</u>	脳神経外科ジャーナル 17:745-753	2008
	A new training method to improve deep microsurgical skills using a mannequin head.	Takeuchi M. Hayashi N. Hamada H. <u>Matsumura N.</u> Nishiho H. Endo S.	Microsurgery28(3):168-170	2008
	The impact cavernous sinus drainage pattern on the results of venous sampling in patients with suspected	Hayashi N. Kurimoto M. <u>Kubo M.</u> Kuwayama N. <u>Kurosaki K.</u> Nagai S. Endo S.	AJNR29:69-72	2008

科 名	題 名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年 月 日
脳神経外科	高位頸動脈狭窄病変に対する頸動脈血栓内膜剥離術の問題点と手術手技	林 央 周 堀 恵美子 秋 岡 直 樹 松 村 内 久 栗 本 昌 紀 桑 山 直 也 遠 藤 俊 郎	脳卒中の外科 36:163-167	2008
	血管内治療とジャズレコード	久 保 道 也	富山市医師会報 449 号 7-8	2008
	Involvement of meteorological factors and sex in the occurrence of subarachnoid hemorrhage in Japan	Umemura K. Hirashima Y. Kurimoto M. Kuwayama N. Kubo M. Origasa H. Doshi M. Endo S.	Neurol Med Chir 48(3) :101-107	2008
	健康寿命と脳卒中	久 保 道 也	豊かな世代を楽しむいきいき情報誌 VITA 第19巻 第3号:16	2008
	脳動脈瘤の直達手術と血管内治療の頻度と予後	堀 江 幸 男 遠 藤 俊 郎 大 櫛 陽 一	小林祥泰編. 脳卒中データバンク 2009. 中山書店. 東京 p160-1.	2009
皮膚科	口唇に発生した mucoepidermoid carcinoma の1例	乗 杉 理 竹 上 與志昌 山 腰 高 子 上 田 智恵子 渡 邊 宏 数 清 水 忠 道 崎 田 茂 晃 坂 村 律 生	第 421 回日本皮膚科学会 北陸地方会	2009. 2 金沢
泌尿器科	Bladder Scan BVI 6100 の使用経験	沖 本 真由子 田 中 陽 子 余 西 郁 子 町 野 直 美 広 田 順 子 木 村 仁 美 風 間 泰 蔵	第 21 回北陸排尿障害研究会	2008. 7. 13

科名	題名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年月日
泌尿器科	膀胱 Paraganglioma の1例	木村仁美 風間泰蔵	第58回日本泌尿器科学 会中部総会	2008.11.15
	BPH/LUTS 患者に対するナフトピ ジル 75mg/日の投与方法に関する 検討	釣谷晋二 野崎哲夫 風間泰蔵 木村仁美 奥村昌央	第58回日本泌尿器科学 会中部総会	2008.11.16
産婦人科	肢端紅痛症に三物黄ごん湯が奏功 した一例	藤永洋 高橋宏三 上田哲之 結城浩良	第34回日本東洋医学会 北陸支部例会	2008.10.26 金沢
耳鼻咽喉科	急性感音難聴の初発例における再 発予測診断への取り組み	十二町真樹子 伏木宏彰 藤坂実千郎 浅井正嗣 將積日出夫 渡辺行雄 麻生伸 木村寛	第109回日本耳鼻咽喉科 学会	2008.5.15-17 大阪
歯科	パロディ 吾輩は舌である 摂食・咀嚼・嚥下、そして呼吸また は地球上の物質循環について	河合宏一	第17回三木成夫記念シ ンポジウム<発生と進化> 順天堂大学医学部	2008.7.23
	もう一步奥へ 摂食・嚥下の基本と実践	河合宏一 高田和加子	横浜市神奈川区歯科医師 会講演会 神奈川県歯科医師会館	2009.2.18 神奈川
薬剤科	脳卒中センターにおける薬剤師の 役割と課題	森田智恵子 堀江幸男 篠田健一	第18回日本医療薬学会 年会	2008.9.20~21 札幌
放射線 技術科	脳3D-CTA撮影法の検討	松井幹夫 竹田尚弘 渡邊篤史	第61回済生会学会	2008.10.19
	SIEMES Avanto システムの基礎的検 討	藤本勝明 花崎祐次 石崎宗一郎 安田江梨子 松井幹夫	第1回中部放射線医療技 術学術大会	2008.11.14

科 名	題 名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年 月 日
放 射 線 技 術 科	3D-RA 撮影時の造影剤濃度による 計測値の変化	<u>竹 田 尚 弘</u> <u>松 井 幹 夫</u> <u>五十嵐 進</u> <u>石 崎 宗一郎</u> <u>渡 邊 篤 史</u> <u>二 谷 立 介</u> <u>久 保 道 也</u> <u>堀 江 幸 男</u> <u>桑 山 直 也</u> <u>遠 藤 俊 郎</u>	第 24 回日本脳神経血管 内治療学会	2008. 11. 13-15 名古屋
臨床検査科	L-DIMENSIONを用いた新しい脳波解 析手法-脳波のゆらぎから局所的な 神経活動を画像化する手法-	<u>開 美絵子</u> <u>谷 内 隆 浩</u> <u>酒 井 紀三子</u> <u>柴 田 孝</u> <u>松 村 内 久</u> <u>堀 江 幸 男</u> <u>武 者 利 光</u> <u>松 崎 晴 康</u>	第 55 回日本臨床検査医 学会学術集会	2008. 11. 28
リハビリテ ーション科	大腿骨頸部骨折に対する人工骨頭 置換術後の歩行能力-Direct anterior approach と Posterior approach の比較-	<u>佐々木 正 詞</u> <u>盛 田 麻 恵</u> <u>織 田 洋 輔</u> <u>藤 井 秀 人</u>	第 35 回日本股関節学会 Hip Joint Vol. 35 Supplement	2008. 12. 5-6 大阪
看 護 部	Bladder scan BV6100 の使用経験	<u>沖 本 真由子</u> <u>田 中 陽 子</u> <u>余 西 郁 子</u> <u>町 野 直 美</u> <u>広 田 順 子</u> <u>木 村 仁 美</u> <u>風 間 泰 蔵</u>	第 21 回北陸排尿障害研究 会	2008. 7. 13 金沢 A N A クラ ウンプラザホテ ル
	脳卒中センターに緊急入院した患 者の配偶者の心理過程	<u>三 輪 恵 里</u>	第 34 回日本看護研究学会 学術集会	2008. 8. 20-21 神戸国際会議場
	内服薬自己管理能力判定尺度の基 準関連妥当性の検証	<u>前 川 典 子</u> <u>山 本 智 美</u> <u>野 上 真 理</u>	第 34 回日本看護研究学会 学術集会	2008. 8. 20-21 神戸国際会議場

科 名	題 名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年 月 日
看 護 部	脳卒中センターに緊急入院した患者の妻の心理過程-演繹的フランクの危機モデルを用いて-	萩野 絵美 加藤 久恵 村川 高明 三輪 恵里	第 39 回 日本看護学会- 成人看護 I-学術集会 (示 説)	2008. 10. 1-2 愛媛県民文化 会館
	再入院する糖尿病患者への指導に 対する看護師の思い	安藤 百合江 鈴木 久美子 小柴 宏美 三輪 恵里 永山 くに子	東海北陸地区看護研究学 会	2008. 10. 29-30 三重県総合文化 センター
	大腿骨頸部骨折に対する人工骨頭 置換術後の看護労力・時間変化の報 告-前方アプローチと後方アプロ ーチとの比較-	土井 佳子 広田 順子 町野 直美 稲見 美津代 藤井 秀人	第 35 回日本股関節学会	2008. 12. 5-6 大阪国際会議場
	脳卒中センターに緊急入院した患 者の配偶者の心理過程	三輪 恵里	第 34 回日本脳卒中学会総 会 (ポスター)	2009. 3. 20-22 島根県民会館サ ンラポーむらく も
総 務 課	済生会富山病院における医療通訳 制度について	大 浜 崇	自治体国際化協会大会議 室	2008. 12. 12 東京
地 域 医 療 連 携 室	地域医療連携体制下での急性期病 院 MSW の役割	中川 妙子 竹 真祐美 山崎 友弘 福江 清子 宮前 千寿子 柴田 孝 堀江 幸男	第 61 回済生会学会	2008. 10. 19 岡山